

デジタルアーツ株式会社
(証券コード 2326)



平成29年3月期 第3四半期
(平成28年4月1日～平成28年12月31日)

補足説明資料
平成29年1月30日(月)

平成29年3月期 第3四半期決算補足説明資料

決算のポイント

- ① 「自治体セキュリティクラウド」「自治体セキュリティ強靱性対策」関連のニーズが飛躍的に拡大。案件の獲得が順調に推移
 - ・ 総務省が求める自治体情報セキュリティ対策の抜本的強化に関する指針を受け、各都道府県および各市区町村においてインターネットのセキュリティ強化対策が実施され、公共向け市場において主力製品である「i-FILTER」シリーズ・「m-FILTER」シリーズの売上が急拡大

- ② 「FinalCode」の売上拡大
 - ・ 「FinalCode Ver. 5」により実現する全社レベルでの高度なファイルセキュリティが大量の顧客情報を取扱う企業・組織のニーズを捉え、販売が拡大
 - ・ 都道府県庁、市役所、町村役場をはじめとする公共団体が求める要望に対応した「FinalCode 自治体限定版」の導入が順調に拡大

- ③ コンサルティング案件の受注が順調に推移
 - ・ 情報セキュリティ対策強化への意識の高まりから、デジタルアーツコンサルティングにおける受注が順調に推移し、全社売上の成長に貢献

平成29年3月期 第3四半期決算補足説明資料

連結決算ハイライト

連結売上高

売上高： **3,518** 百万円 (前期比 +770百万円 / +28.1%)

総務省の指針への対応を進めるお客様のニーズを捉え、主力製品である「i-FILTER」シリーズ・「m-FILTER」シリーズの売上が大幅に拡大

営業利益

営業利益： **1,145** 百万円 (前期比 +540百万円 / +89.3%)

国内人件費などの費用増があったものの売上の拡大で吸収し、営業利益ベースでも大幅増益を果たす

経常利益

経常利益： **1,134** 百万円 (前期比 +524百万円 / +85.8%)

為替相場が円安基調へ転じ、為替差損が縮小したこともあり、前期比大幅増益を維持

親会社株主に帰属する
当期純利益

当期純利益： **693** 百万円 (前期比 +333百万円 / +92.7%)

国内市場の売上拡大による営業利益の拡大を主要因として、純利益ベースでも大幅増益となる

連結業績

(単位：百万円)

項目	平成28年3月期 第3四半期	平成29年3月期 第3四半期	前期比	通期予想
売上高	2,747	3,518	+28.1%	4,600
売上総利益	2,086	2,776	+33.1%	3,652
販売管理費	1,481	1,631	+10.1%	2,252
営業利益	604	1,145	+89.3%	1,400
経常利益	610	1,134	+85.8%	1,400
親会社株主に帰属する 当期純利益	360	693	+92.7%	870
ROE	8.4%	14.8%	—	—

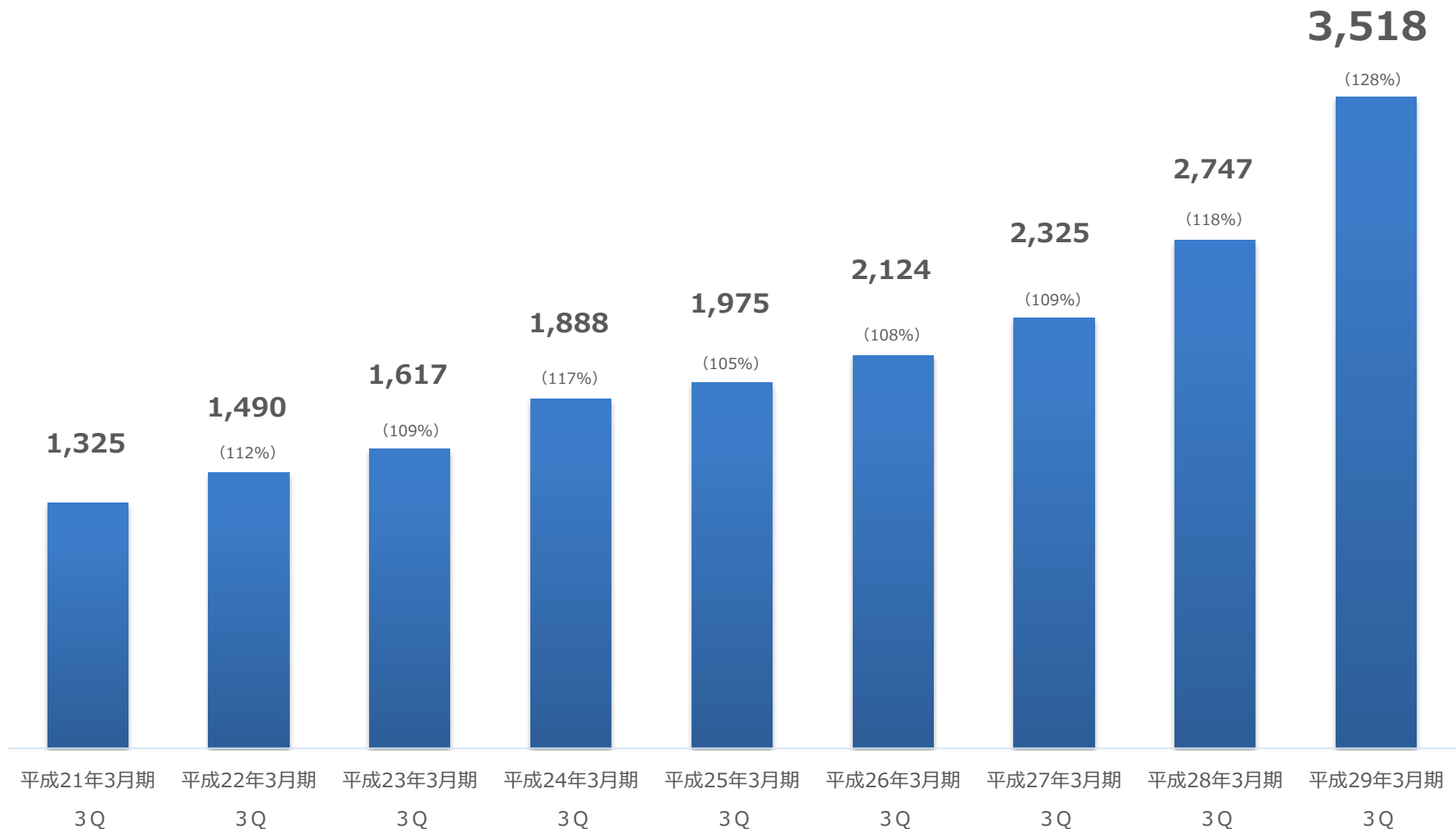
個別（単体）業績

(単位：百万円)

項目	平成28年3月期 第3四半期	平成29年3月期 第3四半期	前期比	通期予想
売上高	2,744	3,575	+30.3%	4,598
売上総利益	2,129	2,765	+29.8%	3,555
販売管理費	1,290	1,451	+12.5%	1,843
営業利益	839	1,313	+56.5%	1,712
経常利益	844	1,302	+54.1%	1,712
当期純利益	559	880	+57.3%	1,182
ROE	12.4%	17.0%	—	—

引き続き過去最高の売上高を更新

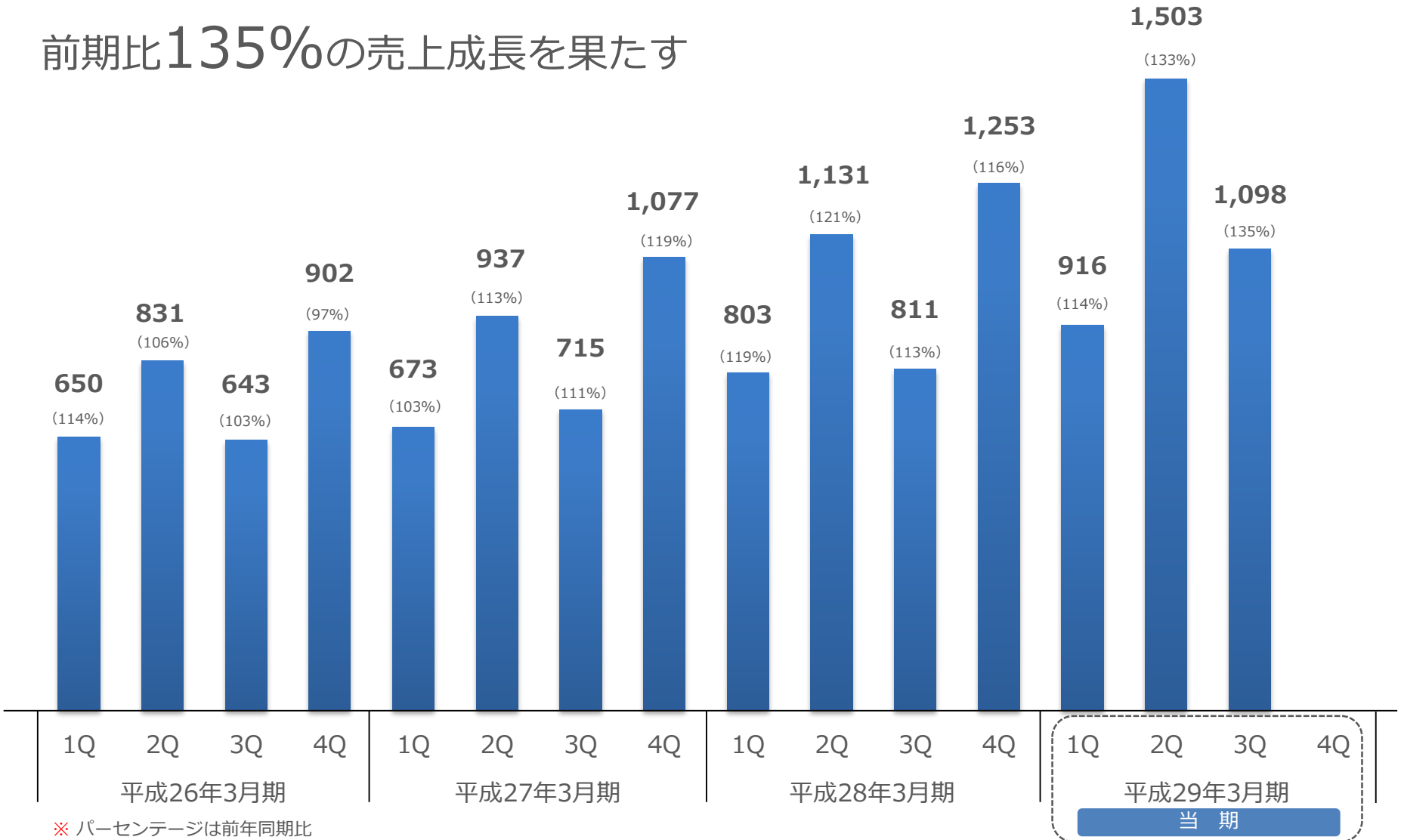
(単位：百万円)



※ パーセンテージは前期比

(単位：百万円)

第2四半期の好調を維持し、第3四半期においても
前期比**135%**の売上成長を果たす



※ パーセンテージは前年同期比

- 国内人員増等の影響により売上原価・販管費共に増加傾向なるも、売上原価・販管費共に概ね期首予算通りの水準で推移

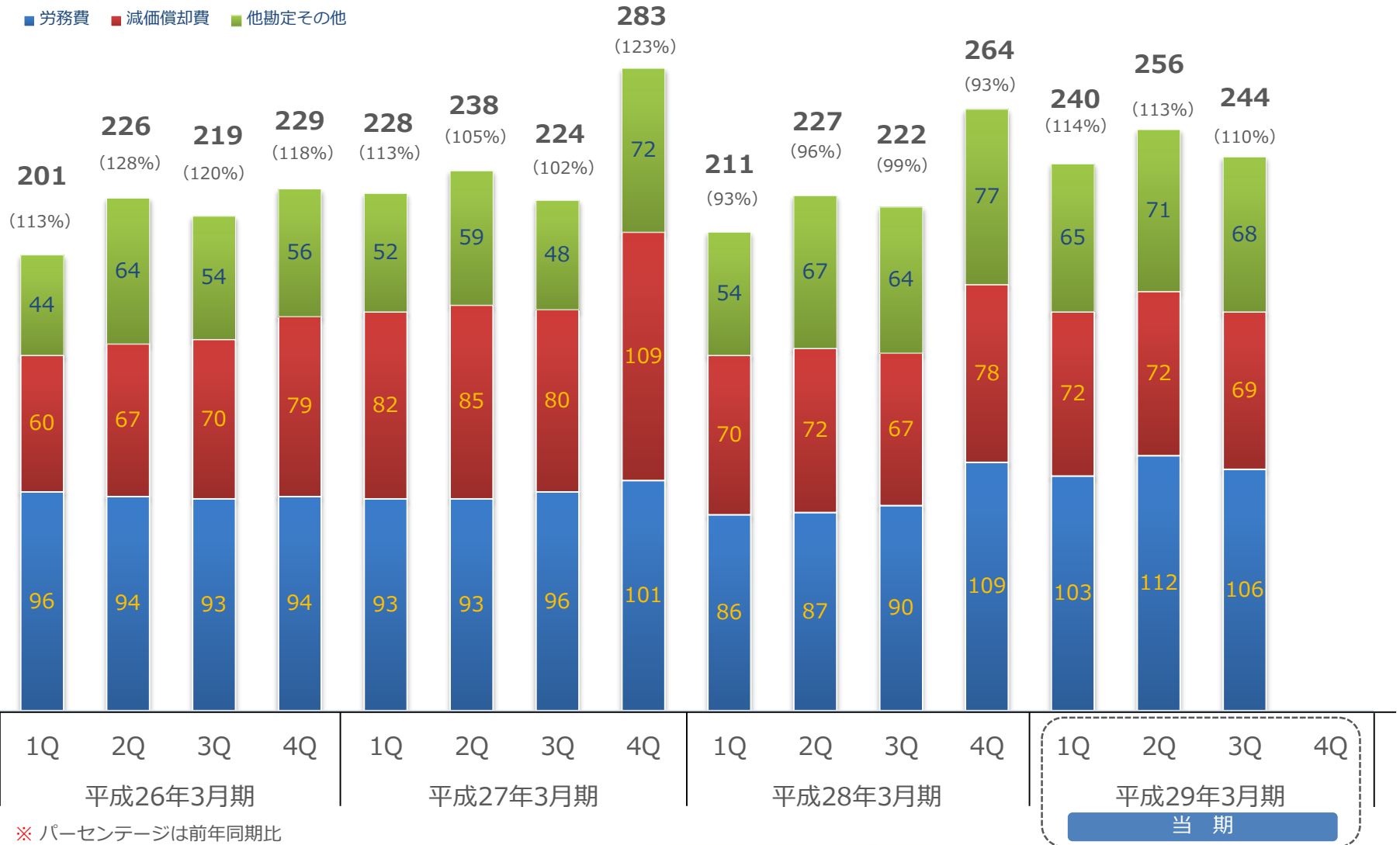
(単位：百万円)

項目	平成28年3月期 第3四半期	平成29年3月期 第3四半期	前期比	主な増減要因
売上原価	661	741	+80	
労務費	264	321	+57	
減価償却費	210	214	+4	
他勘定振替 その他製造原価	186	205	+18	
販売費及び一般管理費	1,481	1,631	+150	
人件費	788	856	+68	国内人件費 +92M
広告宣伝費	190	236	+46	販売促進費 +34M
その他	502	538	+35	税制改正にともなう 税金費用増 +24M

(単位：百万円)

売上原価については各内訳項目とも著変なし

■ 労務費 ■ 減価償却費 ■ 他勘定その他

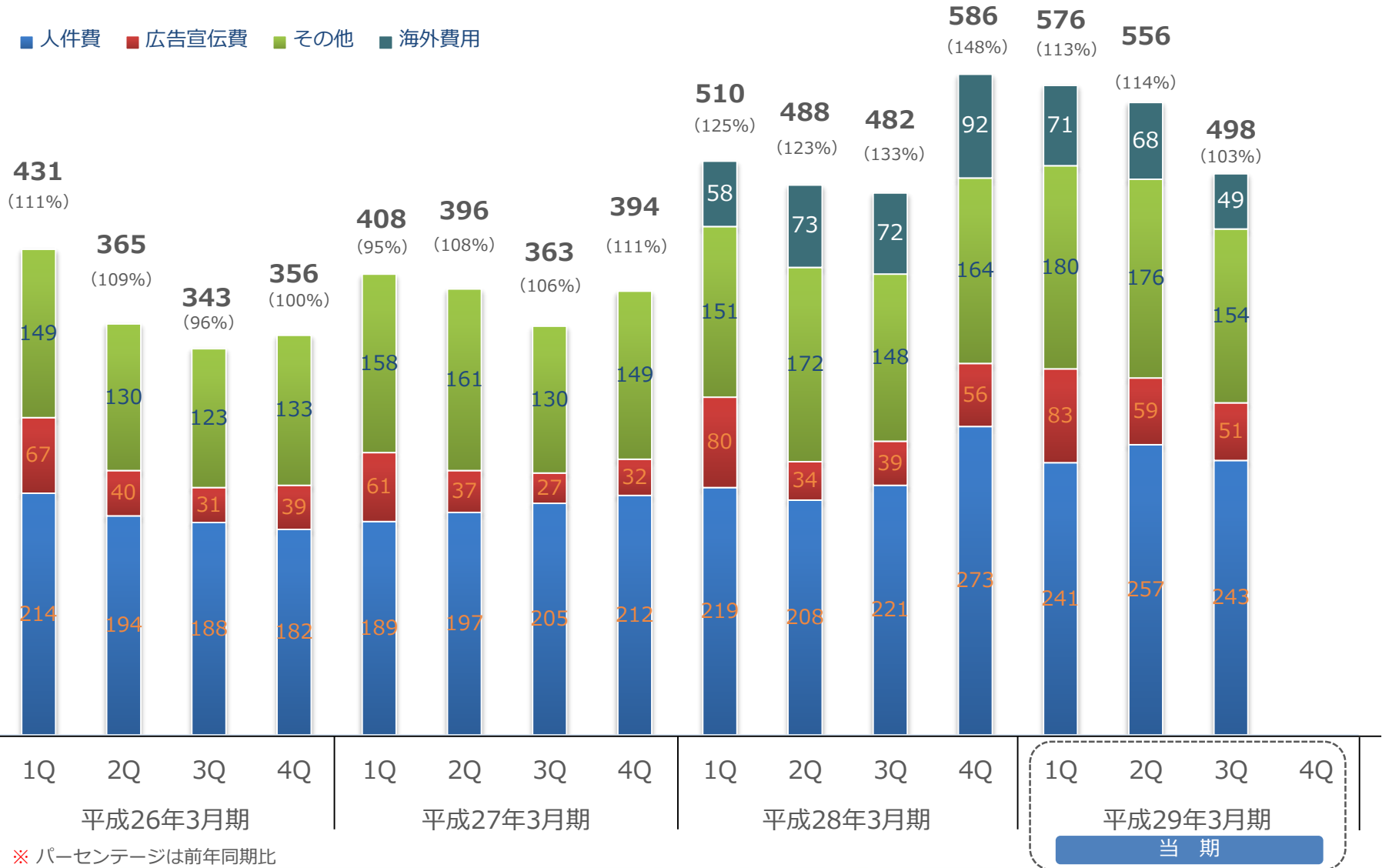


※ パーセンテージは前年同期比

販管費及び一般管理費は国内人件費増により増加

(単位：百万円)

■ 人件費 ■ 広告宣伝費 ■ その他 ■ 海外費用



※ パーセンテージは前年同期比

平成29年3月期 第3四半期決算補足説明資料

市場別詳細

- 連結全体で +28.1% の成長
- 企業向け市場は +17.3% と引き続き順調に推移
- 公共向け市場は +50.1% と自治体セキュリティクラウド等で飛躍的に拡大
- 家庭向け市場においては、国内のパソコン出荷台数が大幅に減少する中、底固く推移

連結売上高

売上高： 3,518 百万円 (前期比 +770百万円 / +28.1%)

企業向け市場

売上高： 1,740 百万円 (前期比 +256百万円 / +17.3%)

公共向け市場

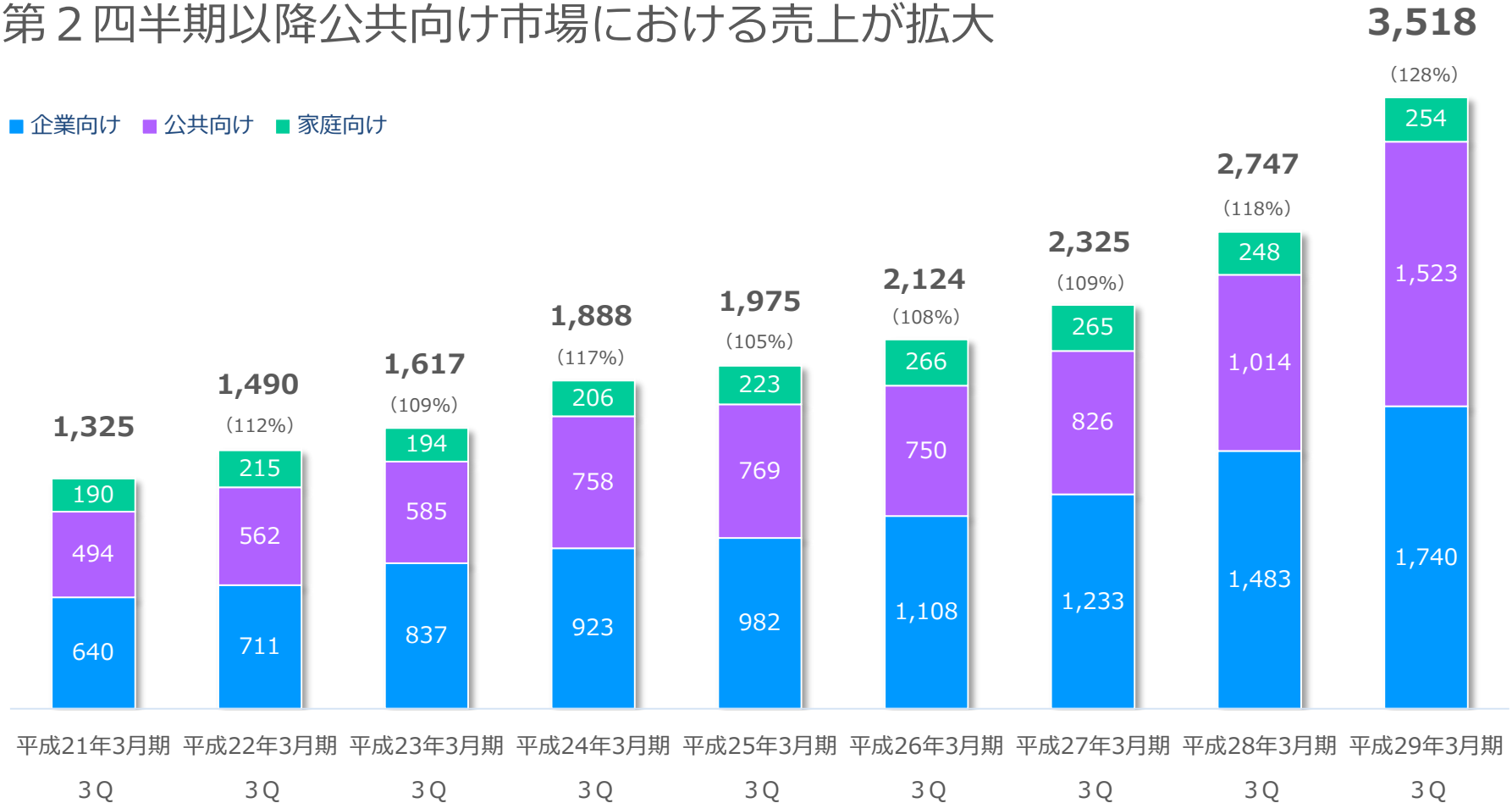
売上高： 1,523 百万円 (前期比 +508百万円 / +50.1%)

家庭向け市場

売上高： 254 百万円 (前期比 +5百万円 / +2.3%)

総務省が求める自治体情報セキュリティ対策の抜本的強化に関する指針への対応を進めるお客様のニーズを捉え、第2四半期以降公共向け市場における売上が拡大

(単位：百万円)

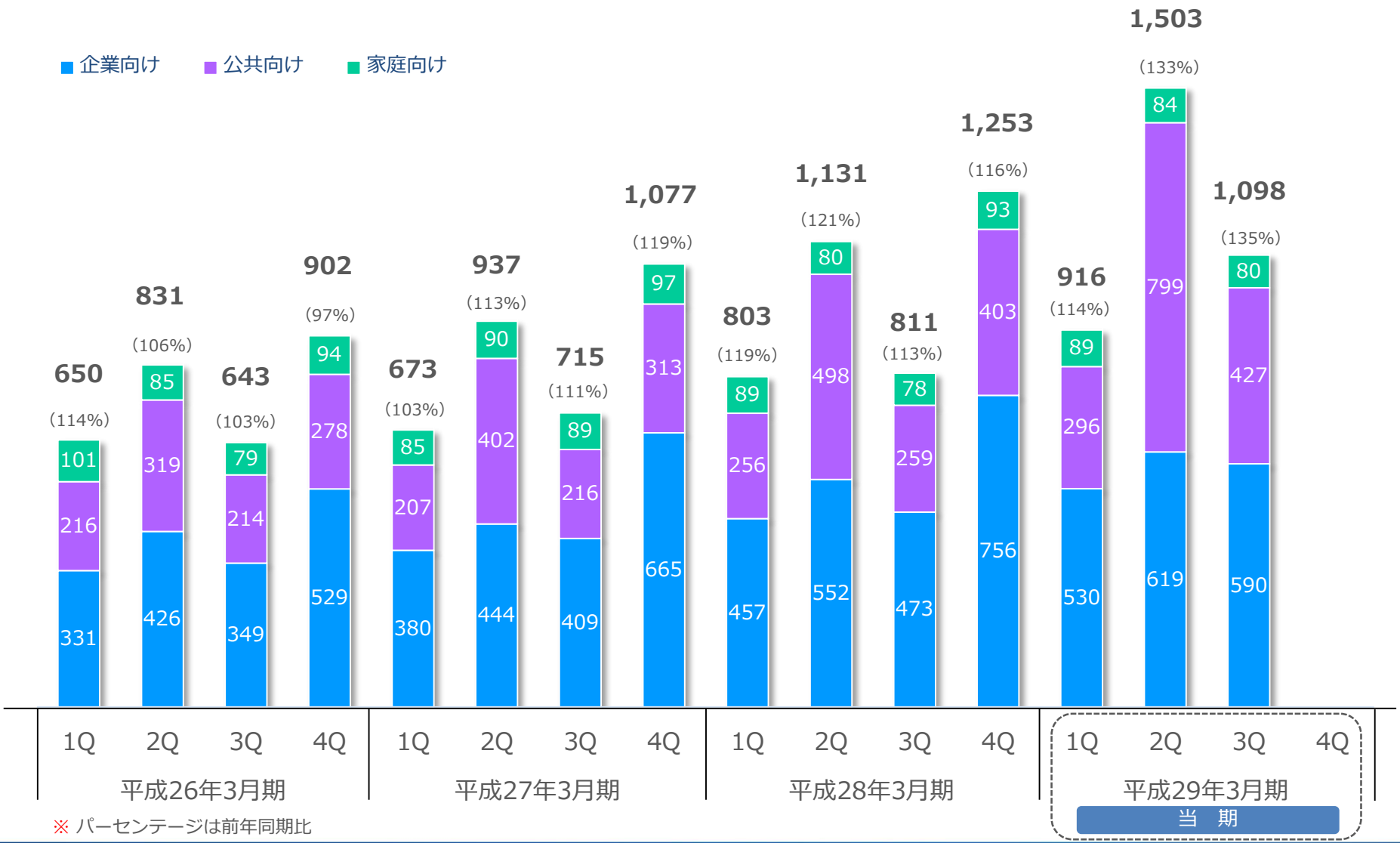


※ パーセンテージは前期比

公共向け市場における売上が引き続き拡大し、全社業績を牽引

(単位：百万円)

■ 企業向け ■ 公共向け ■ 家庭向け



※ パーセンテージは前年同期比

平成29年3月期 第3四半期決算補足説明資料

企業向け市場

- 主力製品である「i-FILTER」シリーズ・「FinalCode」の販売が順調に推移
- 「m-FILTER」シリーズについては案件の着実な積上げが進み、成長基調への転換を果たす
- 大規模な顧客情報の流失事故が多発する中、「FinalCode Ver. 5」により実現する全社レベルでの高度なファイルセキュリティが、大量の顧客情報を扱う企業等のニーズを捉え、売上が拡大

i-FILTER
Series

+ 14.9 %



m-FILTER
Series

+ 1.3 %



FINALCODE

+ 113.8 %



平成29年3月期 第3四半期決算補足説明資料

公共向け市場

- 総務省が求める自治体情報セキュリティ対策の抜本的強化に関する指針を受け、各都道府県および各市区町村においてインターネットのセキュリティ強化対策が実行され、公共向け市場において主力製品である「i-FILTER」シリーズ・「m-FILTER」シリーズの売上が急拡大
- 都道府県庁、市役所、町村役場をはじめとする公共団体が求める要望に対応した「FinalCode 自治体限定版」の導入が引き続き拡大

i-FILTER
Series

+ 38.0 %



m-FILTER
Series

+ 139.5 %



FINALCODE

+ 441.2 %



平成29年3月期 第3四半期決算補足説明資料

家庭向け市場

- 引き続き携帯電話事業者やMVNO事業者等と連携し、スマートフォン向け「i-フィルター」のモバイル端末版の拡販と協業拡大を推進
- パソコンの国内出荷台数減少は継続しているものの、OEMによる販売、複数年パッケージ製品の出荷が好調であったことなどを主要因としてパソコン版の売上が底固く推移
- 1つのシリアルIDで複数のOSでの利用が可能な「i-フィルター® for マルチデバイス」の販売が伸張

パソコン版

+4.5 %

ゲーム機/TV版

▲ 11.7 %

モバイル端末版

+8.9 %

i-フィルター®



平成29年3月期 第3四半期決算補足説明資料

平成29年3月期 通期業績予想

平成29年3月期 業績予想について

平成29年3月期通期の業績予想（平成28年4月1日～平成29年3月31日）につきましては、引き続き良好な環境が継続することが予想され、市場動向を踏まえ現在精査を進めており、確定次第公表する予定であります。

平成29年 3 月期 連結業績予想

- 国内を中心に平成28年 3 月期の市場環境が継続すると想定
- 海外については、案件は着実に積み上がるも計画上是保守的に見込む
- 海外投資関係も前年比微増に留まるため、利益成長が加速する見込み

項目	平成28年 3 月期実績	平成29年 3 月期計画	成長率/増減率
売上高	4,000 百万円	4,600 百万円	15.0 %
売上総利益	3,074 百万円	3,652 百万円	18.8 %
販売管理費	2,067 百万円	2,252 百万円	9.0 %
営業利益	1,006 百万円	1,400 百万円	39.1 %
経常利益	994 百万円	1,400 百万円	40.8 %
親会社株主に帰属する当期純利益	545 百万円	870 百万円	59.5 %
1株当たり配当金	15 円	20 円	—

平成29年 3月期 個別業績予想

- 国内市場については平成28年 3月期の好環境が継続すると想定

項目	平成28年 3月期実績	平成29年 3月期計画	成長率/増減率
売上高	4,018 百万円	4,598 百万円	14.4 %
売上総利益	3,123 百万円	3,555 百万円	13.8 %
販売管理費	1,788 百万円	1,843 百万円	3.0 %
営業利益	1,335 百万円	1,712 百万円	28.3 %
経常利益	1,328 百万円	1,712 百万円	28.9 %
当期純利益	840 百万円	1,182 百万円	40.7 %

■ 配当について

株主の皆様に対する利益還元につきまして、以下の通り計画しております

平成29年3月期の目標配当性向：連結当期純利益の32.0%

平成29年3月期年間剰余金配当予想額：1株当たり20.00円

	1株当たり配当金			連結配当性向
	中間	期 末	合計	
平成28年3月期	7.00	8.00	15.00	38.2%
平成29年3月期	10.00			
平成29年3月期（予想）		10.00	20.00	32.0%

本プレゼンテーション資料に記載されている計画、戦略、財務的予測のうち歴史的事実でないものは、将来の見通しに対する記述であります。本見通しは、当社経営陣が現在入手可能な情報に基づき判断したもので、環境等の変化により大きく見通しの変動する可能性があり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。今後、重要な変化がある場合は適宜開示します。

本プレゼンテーションの基本的な数値の記載は、一部を除き百万円未満を切り捨てて表示しています。

- ・デジタルアーツ/DIGITAL ARTS、ZBRAIN、アイフィルター/i-フィルター/i-FILTER/i-FILTER EndPoint Controller、m-FILTER/m-FILTER MailFilter/m-FILTER Archive/m-FILTER Anti-Spam/m-FILTER File ScanおよびD-SPA はデジタルアーツ株式会社の登録商標です。
- ・FinalCode はデジタルアーツグループの登録商標です。
- ・その他、記載された会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。

DigitalArts®

-より便利な、より快適な、より安全な
インターネットライフに貢献していく-